



# 議会だより

平成30年度 第3回定例会 … 2～4ページ  
常任委員会報告 …… 5～6ページ  
議会報告 …… 7ページ  
特集“美し郷喬木”に向けて …… 8ページ

一般質問 …… 10～13ページ  
議会モニターより …… 14ページ  
一般質問 その後どうなったか …… 15ページ  
この村でがんばってます …… 16ページ



中央保育園 運動会

# 平成30年度第3回定例会

平成30年度第3回定例会は9月4日開会し、29年度決算認定、平成30年度補正予算、条例の一部改正、人事案件他議案を審議可決し9月21日に閉会した。

## 人 事

議案第37号

○喬木村教育委員会の委員の任期満了につき、喬木村伊久間の井原由美子氏の任命に同意した。

## 補 正 予 算

議案第44号～48号

○一般会計(第2号)

○歳入  
・災害復旧国庫負担金 650万円

(林業施設災害復旧負担金)

・財産貸付収入

232万円

(堰下ガイドウェイヤー

下用地貸付金)

・繰越金

3182万円

(前年度繰越金)

○歳出

・リニア・三遠南信

道 関連活性化基金積

立 232万円

・九十九谷森林公園防

会計認定

火貯水池維持工事  
280万円

・危険ブロック塀撤去

等補助金

300万円

・林道大島氏乗線復旧  
工事 1000万円

○国民健康保険特別会

計(第1号)

○歳入

・国民健康保険税

△1077万円

・繰越金 140万円

○歳出

・国庫支出金等超過交

付金返納金

700万円

○介護保険特別会計

(第2号)

○歳入

・保険料 197万円

・繰越金

2302万円

○歳出

・償還金関係経費

1908万円

○予備費 642万円

○下水道特別会計(第

2号)

○歳入

・繰越金

3430万円

○歳出

・予備費

3430万円

## 財 産 取 得

議案第49号

○財産の取得について

消防団装備の充実強

化及び消防団車両の安

全確保のため小型動力

ポンプ積載車1台更新

価格 985万円

議案第50号

○財産の取得について

目的は49号と同

価格998万円

議案第51号

○財産の取得について

リニア中央新幹線堰

下ガイドウェイ製作・

保管ヤード使用後の用

地を村で活用するため

取得価格 7947万

3千円

## 報 告

報告第14号

○平成29年度決算に基

づく健全化判断比率に

ついて

地方公共団体の財政

の健全化に関する法律

第3条1項の規定によ

る。

報告第15号

○平成29年度決算に基

づく資金不足比率につ

いて

地方公共団体の財政

の健全化に関する法律

(平成19年法律第94号)

の規定による。

○賛成 × 反対

## 議案採択結果

件 名	佐藤文彦	下平 貢	福澤真理子	櫻井 登	後藤澄壽	東原靖雄	中森高茂	後藤章人	木下温司	昼神三男	小池 豊
議案37号(起立 採決)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案38号～48号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案49号～51号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告14～15号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

# 平成29年度決算を認定

一般会計、特別会計総額決算の状況

歳入 61億2242万7千円 内訳  
 一般会計 41億7040万6千円  
 特別会計 19億5202万1千円

歳出 58億8693万円 内訳  
 一般会計 40億3134万円  
 特別会計 18億5558万9千円

起債 一般会計・特別会計の合計 24億2300万4千円

基金 一般会計・特別会計の合計 40億9724万7千円

## 基金の状況

(単位：千円)

種別	平成28年度末残高	平成29年度中増減	平成29年度残高
合計	3,887,990	209,257	4,097,247

## 公債費の状況

(単位：千円)

種別	平成28年度末未償還元金	平成29年度償還額			平成29年度新規借入額	平成29年度末未償還元金
		元金	利子	合計		
合計	2,541,991	348,087	15,250	363,337	229,100	2,423,004

(水道会計は除く)

## 水道事業会計決算

収益的収入及び支出

(単位：千円)

	予算額	決算額	増減
水道事業収益	167,545	174,563	7,018
水道事業費用	209,134	160,279	48,855

## 平成30年度 9月補正予算

(単位：千円)

会 計 名	補正金額	予算総額
一般会計(第2号)	43,315	3,825,910
特別会計	国民健康保険(第1号)	553,309
	後期高齢者(第1号)	78,144
	介護保険(第2号)	828,541
	下水道特別会計(第2号)	377,304

# 決算審査意見書

## (平成29年度 各会計別歳入歳出決算の概要)

一般会計及び特別会計の決算は次のとおりである。

総歳入総額は6,122,427千円で前年比8%の減となっている。

総歳出総額は5,886,930千円で前年比9%減となった。総計決算における歳入歳出差引差額(形式収支)は235,497千円となり前年に引き続き黒字となっている。平成28年度会計連結資金収支計算書においても年度末資金残高は増加しており、引き続き平成29年度も同様の結果が予想され健全性を確認した。

## (二 一般会計)

### (一) 決算収支の状況

一般会計における歳入歳出差引額(形式収支)は139,065千円と前年同様に黒字となっている。翌年度に繰り越すべき財源は概ね7,236千円で実質収支は131,829千円となっている。前年度と比較する単年度収支が

44,884千円のマイナスとなっている。この単年度収支に年度中の財政調整基金等の増減を加えて計算する実質単年度収支はマイナス263,312千円となっている

が、財政調整基金の運用方針の見直しを行うと共に、今後確実に想定される事業に備えて公共施設整備基金に102,617千円、リニア・三遠南信道路関連活性化基金に251,455千円を積み立てていることが確認したことから問題はないと判断した。自治体財政の硬直化の判断材料として参考にされる本年度の経常収支比率は、84.2%と前年比より3ポイント上昇しているが、全国平均の92.5%、長野県平均の85.9%に比べて下位にある。また、臨時財政対策債の借り入れの有無により変動するものであり、平成29年度の一般会計においては、臨時財政対策債の借入をすることなく財源確保できたことは評価するところであり、逆に指標が下がらない原因であったことを確認した。

### (2) 歳入・歳出の状況

過去10年間で昨年に次ぐ4番目の収入合計4,170,406千円であった。過去10年間の交付税額は、概ね一定の財源が確保されている。歳入における自主財源の割合は、35.2%であり、残りの64.8%は依存財源の割合となっている。自主財源の割合の拡大を図ることは大変難しく、前年度まで貢献していたふるさと納税も安定的な財源にはなっていないものの、引き続き財源確保のための取り組みに期待する。

## 審査結果

一般会計及び特別会計の歳入歳出決算書に基づく審査の結果、決算はにおいて正確であり、内容も正当なものと認定した。

代表監査委員

市瀬 晴康

議会選出監査委員

昼神二三男

## 事務事業評価シート使用始まる

今定例会から初めて、「事務事業評価シート」を予算決算常任委員会の資料として使い29年度決算認定の審議を行った。

事業評価シートとは、各事業ごとに事業の概要、事業内容、事業費、成果・課題、事業評価そして次年度継続するか廃止するか等、総合評価がなされているものである。事業の目的と評価を行うなどその事業がどのような効果があったのか、今後を進める事業であるのかなど、事業効果を議員の目で確認する上で今までのような、決算の数字のみで判断をするものでなく大変有効な資料である。

約500ページの資料であり、多くの議員は何日もかけて読み込み、そこから多くの質

問を引き出し行政の考え方、姿勢を質した。数字のみで判断していた時に比べ、幅の広い質問ができたのではないかとはいえ、500ページの資料は作成する側も、議員の側も負担が大きいばかりでなくせつかく作ってもらった資料を最後まで集中力を保って読み込むことは困難であり、深い審議ができるかどうか、もう危惧のものになる。もう少し内容を絞り、深い審議ができるようにするのも良いのではないかと、という声を何人かの議員から聞いた。今後も事務事業評価シートを使用していくうえで貴重な意見だと思ふ。今後の課題として検討したい。



後藤章人

# 常任委員会報告

## 予算決算常任委員会

委員長 木下温司

委員会に付託された案件は、平成29年度一般会計と、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、下水道特別会計、水道事業会計の歳入歳出決算の認定。平成30年度一般会計と、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、下水道特別会計の補正予算の承認で、11議案を審議。審査の結果、当委員会ではそれぞれ可決・認定した。

### 29年度決算認定

平成29年度の一般会計並びに特別会計の認定。各課から「事務事業評価シート」にて詳

細な説明を受け質疑を行った。一般会計と6特別会計の決算合計額は58億8,693万円で、前年比9%の減。

### 一般会計

#### ・決算概要

経常収支比率が前年に比べ3%上回っている。人件費比率の伸びで義務的経費が財政硬直化に響いているのではないか。

**A** 当面リニアの関係で人的にも必要な人材がいる。平成32年から嘱託職員や臨時職員の任用制度上、変わってくるので、分類上で人件費として分類しなくてはならない。トータルの人件費は増えなくとも、見かけ上、統計数値上人件費が増える可能性がある。

#### ・消防団運営経費

**Q** 消防協力員の制度

が発足して10年以上経ちますが、果たして必要なのか、今後の在り方は。

**A** 消防協力員は民間の方という位置づけ、指揮命令系統だと保障の面で課題が多い。消防委員会にも廃止を前提とした村の考えを示し、回答を頂いたので、今後に向けた検討をする。

#### ・村営バス運営経費

**Q** 事業評価で「利用者の少ない路線は、車両の小型化で・・・」とあるが、また、小さな拠点交通ネットワーク運行事業においても、「運行地域や本数等の見直しを行ってほしい」との声がある。将来小型化も含め、村民バスとコミュニティバスの融合を図っていく考えは？

**A** 現在村民バスの小型化を想定しているのは大島線。将来的には村民バスについても自

家用有償の方に切り替えていく時期が来ると思う。

#### ・出産祝い金事業

**Q** 今までの事業で641名、1億円余の祝い金が支払われている。事業評価で「そのすべてが子育て支援としているか不明」とされているが、祝い金をどう使うかは保護者の考えで良いのか。

**A** この事業は、移住・定住の促進に繋げようという施策で行っている。祝い金があるからと出生率が上がったとか、定住人口が増えたとかいうことはない。

#### ・保育所関係経費

**Q** 保育園の在り方について答申が出されたが、現在の状況は。

**A** 現在、保育園の合併についてアンケートを実施している。このアンケートを参考に、秋ころから地元への説明を実施していく。同時に将来の用地の選定

についても進める。

#### 国民健康保険特別会計

**Q** 成果のところで「大口の納税者が発生し、未納に繋がった」とあるが、保険者努力支援制度への影響が出てくると思うが。

**A** 努力者支援制度にも当然影響がある。収納率は喬木村は高い方だが、現状の収納率であれば平均以上のポイントは取れるが、前年度より良くするというのは厳しい。

#### 介護保険特別会計

**Q** 訪問サービスより通所型サービスが増えているという事は、希望される方が多いという事だと思いが、訪問型が下がっていくという事は必要がなくなったという事か。他に代替えのサービスが利用されているという事か。

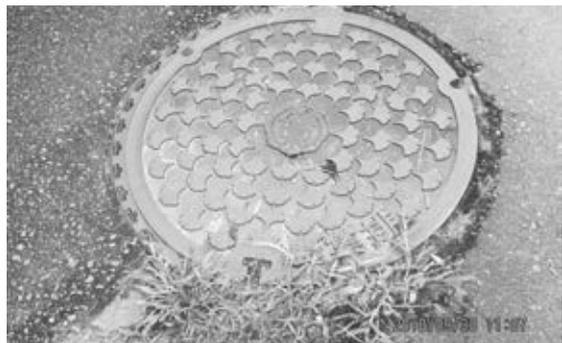
**A** その方の状態に

より、身体介護が必要になったりすると介護認定という事で、総合事業の利用者として29年度は減る。

#### 下水道特別会計

**Q** 有収率が昨年に比べ下がっている。具体的な原因が分かっているか。

**A** 不明水の一番多いのはマンホールと管のつなぎ目と、路面に出ているマンホールの蓋の周りの欠損部から雨水の流入。(写真)



## 30年度補正予算

### 一般計

- ・農業振興事業補助金  
補正額30万円
- ・黒星病緊急対策補助金

今回の発生は農協からの苗が、既存の農薬に耐性を持つているため、飯田下伊那に蔓延しないよう、管内統一した助成措置の要請に基づき、緊急措置として行う。

- ・公園維持管理経費  
補正額280万円
- ・九十九谷森林公園防火貯水池維持工事
- ・大和知洞の貯水池が埋まっているため、その浚渫と併せ木道の整備を行う。
- ・災害対策経費  
補正額300万円

危険ブロック塀撤去等補助金  
ブロック塀の危険性が指摘されているため、今回撤去に係る費用の一部を補助す

る。

- ・国庫補助林道災害復旧事業費  
補正額1,100万円

林道大島氏乗線復旧工事

今回の台風21号の影響により、林道大島氏乗線の復旧工事に関する費用。

## 総務産業建設常任委員会

委員長 下平 貢

### 今定例会

の委員会に付託された議案はありませんが、今回の委員会は、決算審議を受け、その中から、事業抽出を行い、次年度の予算編成に向けて、当委員会として提言出来ること

があるのか、事業調査を実施した。主な内容は次の通り。

### 村営バス運営経費

信南交通は撤退するが、現在2社の申し出がある。三十一年度以降の運行は維持できる見通し。

### ふるさと納税関係経費

制度自体に多くの課題を抱えているが、村としては、更なる納税獲得に向け粛々と事業遂行することが大切であることを確認。

### 消防団運営経費

現在の団の組織の状況は基本団員一二一名（内女性班一〇名）機能別団員四八名（内加々須一一名、大島一〇名、役場一〇名）計一六九名である。団の抱える多くの課題に対し委員会としても調査研究することとした。

### 災害対策経費

有事の際の初動マニュアルがポイントと捉え、防災マニュアルの利活用も含め委員会としても調査研究することとした。

### リニア対策関係事業

今後想定すべき主要事業と、次年度の重点事項、代替地登録制度などについて事業内容の説明を受けた。

### 土木費

道路橋梁維持管理経費、社会資本整備総合交付金事業、村単道路改良事業について説明を受け、地元負担のあり方について、委員会として調査研究を行うこととした。

### 農林水産費

多面的機能交付金事業、中山間地域等直接支払交付金事業について、今後も事業の内容を熟知し、有効活用につなげることを確認した。村単農業施設改良事業については、地元負担について他町村との比較も含めて検討が必要とし課題とした。クラインガルデン管理運営事業については、県内の優良事例を参考に、当村の課題解決に向け

取り組むこととした。

以上、事業調査の結果、いくつかの調査研

究テーマを抽出した。

今後審議を進め提言につなげていきたい。

## 社会文教常任委員会

委員長 中高 茂

平成三十二年度第三回

定例会において、当委員会への付託議案はなく、来年度予算審議に向けた提言を行うために事業を抽出し討論を行った。

### 一、保健福祉課関連

移住定住事業として行われている出産祝い金事業について、見直し等を含めた新規事業の提案について議論討論等を行った。

今回の提言は見送るが、今後一年間の議論討論を重ね、32年の予算提言が出来るように取り組む事とした。

### 二、教育委員会関連

保育園の未満児保育の抱える問題と保育士不足の問題を質疑討論の中で、正規保育士の現体制見直しを研究する事とした。



中央保育園

# 議会報告

## 夜間・休日議会

議会改革のひとつでもある「夜間・休日議会」は、平成29年度第4回定例会より実施し、平成30年度9月第3回定例会にて、1年間の議事を終えた。

今回の夜間議会では、二つの常任委員会（総務産業建設・社会文教）が開催され、一般質問は日曜日に行われた。平日昼間の議会では、本会議が2回、予算決算委員会の決算審議が3回開催された。

アンケート結果については、HPをご覧ください。

## 事業評価シート活用

第3回定例会の予算決算委員会では、決算審議において、初めての「事業評価シート」を活用し審議に臨んだ。

事業評価シートは、主に事業ごとに、事業内容・事業費・事業成果・課題などを総体的に鑑み、ABC評価にて表わされており、今後の方向性を総合評価するものである。また次年度予算が併記されているので、年度ごとの差異も分かりやすく、事業の継続事情等へも反映が考慮されている。従前の決算審議に比べて分厚い決算書

であるため、審議対象を絞り込み易くすることも課題となった。

## 議会運営に関する提言書を提出

8月2日、市瀬村長に議会運営に関する3件の提言書が提出された。

▽決算審査について  
▽通年議会を含めた議会運営の検討について

▽ICTを活用した議会運営と省資源化について  
(内容は美し郷喬木に掲載)



(8月3日村長へ提言提出)

## 飯田建設事務所訪問要請活動行っ

9月18日、市瀬村長、正副議長、議運委員長、総務産建正副委員長、村担当者が飯田建設事務所を訪問し、坂田所長に県道改良整備に関する提言書を提出し、県への提言内容につき助言指導を求めた。

提言内容は次の通り。  
▽三遠南信自動車道、飯田上久堅・喬木富田インターチェンジから富田バイパスまでの道路改良を求めることについて  
▽主要地方道伊那生田飯田線小川渡橋の早期架け替えを求めることについて  
▽阿島橋の早期改良または新規架橋建設を求めることについて  
▽県道上飯田線小川・下氏乗間の拡幅改良等整備促進について  
以上の4項目を提言。

## 視察回来村



(9月18日飯田建設事務所訪問)

喬木村議会を視察研修にさる7月11日から8月21日にかけて、全国5ヶ町村議会から視察団の来訪があった。松本からの視察団は、女性19名の団体で、その熱心さに感激した。それぞれの町村議会との意見交換会では、本村役場職員の夜間・休日議会時の出勤に関する経費増や、代替休暇取得などの確認はできているのか、などの質問が出された。



(7月24日埼玉県ときがわ町視察団)

またタブレットによる会議は進歩的で勉強になったとの意見もあつた。本村への議会視察団の関心の高さがうかがえた。

来訪日	所在地		団体名
7/11	群馬県	大泉町	町議会
7/17	長野県	松本市	みんなの学校in企画委員会(女性団体)
7/24	埼玉県	ときがわ町	町議会
7/27	山口県	上関町	町議会
8/24	新潟県	弥彦村	村議会

# 「美し郷喬木」に向けて

## 議会運営に関する提言書を村長に提出

### 1・決算審査について

予算決算常任委員会付託審査については、前年度まで本決算書並びに「わかりやすい決算書」を中心に審議を行ってききましたが、第5次総合計画の進捗状況と合わせ、「見える化」を図るため、「事務事業評価シート」を活用した事業評価を中心に、予算執行と成果など総合的に審査しPDCAサイクルの活用により、評価後の課題を次年度へのアクションとして反映させていくことを主に審査を行いたいと思います。

従いまして本年度9月定例会より資料の提供をご検討いただきますようお願い申し上げます。但し、各事業の内容が多岐にわたり資料の量も膨大となり、内容からタブレットだけでは

読み取りが困難かと思いますので、ペーパーによる事務事業評価シートの提供をお願いし

### 2・通年議会を含めた議会運営の検討について

平成29年第2回定例会より検討をはじめ、第4回定例会より試行してきている休日夜間議会を含む一連の議会改革に對しましては、村理事者、職員組合のご理解により、一定の評価を得るに至りました。

さて、平成29年の喬木村議会議員選挙の無投票を受け、議員のなり手不足解消に向けた取り組みの一つとして、「兼業でも活動が出来ること」を目的として休日夜間議会の1年間の試行が行われてきたところです。これまでの3回の定例会を通じ、様々な課

題に對し、改善を重ね、議案審議に對する一定のルールを設けて行つて参りました。更に喬木村議会として、平成29年の議会改革を進めて行く中で、通年議会の研究に入りま

した。そこで、喬木村として、通年議会を含めた議会運営の協議検討を要望します。

### 3・ICTを活用した議会運営と省資源化について

喬木村議会においてはICTを活用し省資源化（ペーパーレス）など

の取組を進めて参ります。現在までタブレットを議会全員協議会での活用をしております。全ての議員がその機能の有効活用出来るまでには至っていない部分も見

受けられますが、それぞれの議員が努力を重ねている所です。モアノートを現在使用しておりますが、さらに使いやすいクラウド型コラボレーションツールとして「サイドブックス」への切り替えを提案いたします。

行政および議会のために開発された機能を有し、セキュリティ対策も万全であり双方に多くのメリットがあり、喬木村職員並び議員の導入を検討頂きたい。

行政および議会のた

## 「小中普通教室エアコン設置予定」表明を受けて

村議会9月定例会 村長あいさつより



議会で使用されているタブレット

### ありがたいです

喬木第一小学校養護教諭

小宮圭子先生

国の記者会見あるいは先の知事選でも教室のエアコン設置が取り上げられていましたが、本村の対応につきましては、児童生徒、教員の安全確保、安定した学習環境の確保のため、今後国の補助制度を活用して、早期に3校へのエアコンの整備を進めていきたいと考えております。報道によりますと、教室へのエアコン設置のために、文

部科学省の新年度予算概算要求で2400億円程度が計上されていると承知しておりますので、来年度には快適な環境下で学習できるよう現在準備を進めておりますが、今年度の国の補正予算などで所要額が確保されるようであれば来年度を待たず早急に対応できるよう村としても予算付けをして参りたいと考えております。

エアコン設置は、ありがたいです。この夏は、特に南向きの教室が暑く、扇風機を回しても熱風が回っているといった状態でした。保健室に具合が悪くなつて来た子どもたちにも、「今までどこにいたの？」と聞くと「教室にいた」と言っていました。熱中症の一歩手前という子どもも多く心配していたところです。できる限り早く設置していただければ

ありがたいと思います。

いいね

小中学校児童生徒兄弟祖父

いいね。

体操から教室へ帰って来たときなんか、エアコンがあれば、いいと思うよ。

喬木村のアピールにも

小中学校児童生徒兄弟父

子どもたちが、教室が暑くて、勉強に集中できなくて気の毒だと思っていました。

このように、子どもたちにとって快適な教育環境をつくっていただくことは、子育て世代に喬木村のよさをアピールすることにもなるのではないのでしょうか。

早くいれてほしいな

小4児童

教室の扇風機2台増やしてくれたけれど暑かった。



第1小学校に設置されているエアコン

僕は元気だからだいたいじょうぶだったけれど、友だちは具合が悪くなつて保健室に行った。

今度教室にも、エアコンがはいりそうかどうかというのを聞いて、うれしい。

できるだけ早くいれてほしいな。

以上のように「小中学校普通教室エアコン設置予定」について、村長より大変前向きな話があり、これに対して歓迎の声が寄せられております。

議会としても、できる限り早く実現できるように協力してまいりますかと思っております。

(後藤澄壽)

## 広聴委員会

## 団体との懇談会を終えて(第2報)

広聴委員長 木下 温司

喬木村議会では、議会基本条例に基づき、議会報告会を兼ねた団体との懇談会を行い、前半の日程を終えた。(議会日より82号 7月発行以降開催の懇談団体の報告)

### ◇民生児童委員会

平成30年7月11日(水)午後3時00分から5時 議場にて17名参加

懇談での主な意見・課題

- 若いお母さんから、「最近、凶悪犯罪が多いが、今後、リニア工事関連で知らない人が増える中で、どう守ってくれるのか心配だ」
- バス運行の氏乗・大島線が中止と言うが。

### ◇消防団

平成30年8月21日(火)午後7時30分から9時 議場にて16名参加

懇談での主な意見・課題

- 義務金がなくなったことや、団員減少により班の財政が厳しくなっている。自治会

からの援助はあるが、班員が減少しても活動は同じ。出勤手当の増額などの対策が可能か検討して欲しい。

○どの班も団員が減少しており、来年度、寺の前班では存続が不可能である。班の統合も含め検討が必要。

※この日程以降行われた懇談会、喬木村女性団体連絡協議会については、原稿の締め切り以降となりますので、次号にて紹介させていただきます。

また、10月から地域を対象に、地区懇談会を開催いたします。是非ご出席下さい。



民生児童委員との懇談会

後藤 澄 壽 議員

要・準要保護児童生徒給食費補助費は

「喬木村要保護 および準要保護児童生徒援助費支給要綱」に「要・準要保護児童生徒の給食費は実費支給する」と明記さ

「柿プロジェクト」は

これからは。ニッチトップ企業の時代になるといわれている。「柿プロジェクト」将来ニッチトップ企業に成長する可能性をもつプロジェクトとして注目している。このプロジェクトは、産学官連携で推進される

来年度予算要求で、実費支給できる予算を要求する予定はあるか。

教育長 喬木村として

は、6割補助が、妥当であると考えているため、来年度予算に給食費の実費支給を要求していく予定は、現段階のところない。

櫻井 登 議員

学校歯科と水道事業を問う

学校歯科検診の受診結果と保健指導は。

教育委員会事務局

児童生徒の歯科治療について要治療の割合は、第一小40%、第二小15%、中学校9%であり、受診率は、9月1日現在、第一小32%、第二小43%、中学校41%であった。

要治療は比較的

低く、口腔衛生面では、やや安心した。しかし、未受診率は、年度途中のためか、まだ高い。今後の歯科治療が望まれる。

水道事業の現状と更新状況は。

（本管の状況／老朽化現象／更新計画／収入源と更新費用／更新率縮小／水道法との関連性／企業会計は第1歩／向上対策等）

生活環境課長

管路の長寿命化は計画的に改修し、耐震性の高い管を入れ替えていく。

管路更新は、

本村上水道事業基本計画に基づいて補助制度を活用し、更新を実施している。更新計画策定は、経営戦略、アセットマネージメント計画により、更新時期の最適化を検討していく。

管路更新率縮小は、

年度ごとの実施結果であり、29年度は企業会計導入初年度により投資事業を控えたので0%である。

▽法適化初年度の29

年度は、減価償却費相当分を確保し、1391万円の利益剰余金を計上できた。今後の人口減少に伴い、収入減を予想し、更新費用節減に経営

努力する。▽水道法改正は、国会で継続審議となっているが、改正案がどうであれ、運営権の民間移譲は考えていない。広域化は圏域で検討しているが、あくまでも経営の効率化の研究のためである。

▽企業会計導入は、

安全、安心の水を未来まで供給できる経営の判断材料の整備が理由である。

▽水質や、

サービスの向上は、大規模な災害が予想される中、安全、安心して飲用できる水を提供していくこと。



柿プロジェクトの旗



上水道制御室

## 木下 温 司 議員

### 広島平和のバス事業は

**問** 平成22年から始まった広島平和のバス、今年で9回目、この事業の目的は「喬木村における平和推進事業の一環として、広島平和記念式典への参加、原爆に関する施設の見学を通じ、戦争の

### 公共交通の今後は

**問** 地域住民の足と公共交通の要になっている村民バス。委託先の信南交通から、来年度以降の運行について撤退の通告がされた。来年度以降の運行計画について現状は。

**答** 悲慘さや被爆の恐ろしさを実感し、生命の尊厳、平和の尊さを確認、平和の推進を図る」としてはいますが、今年度は26人と参加者が少なかった。その原因と今後の対策は。

### 教育長

**問** 今年度は出発業者選択に当

**答** たっては十分な審査が行われると思うが、人命を預かるだけに、安全な運行が維持できるよう、整備・運転者の資質など信頼できる体制が必要と考えるが。

### 副村長

**問** 運行業者の選定にあたっては、道路運送法をはじめ各種法令、規則に係る許認可、免許は勿論、運行・安全管理態勢、運行実績や経

日の8月5日は日曜日で、中学生は部活動の大会への参加、一般は、当日長野県知事選があつたことが、原因と考えられる。今後広報活動と啓発活動に努め、公民館平和学習会において、戦争及び平和への学習を深め、広島平和のバスの意義を伝え、学校にも協力してもらい、本事業の重要性の理解を求めていく。

営状況等についても慎重に審議し決定する。



喬木村営バス

## 福 澤 眞理子 議員

### 子どもたちと先生方が安全に、安心して活動できる環境をどうつくるか

**問** エアコン設置の報道に触れ、歓迎するものであるが「災害」とも言われる暑さの中で、緊急に対策を講じる必要があることは小中同じである。来年度一斉に行なうことは考えられなかったか。普通教室対策と報道されたが第二小においては、三階に位置する音楽室、図書室も必要と思うがどうか。

**答** 保育園への対策はどう考えるか。

### 教育委員会事務局

**長** 現在中学校のエアコン設置について検討中である。小二校に対して希望調査を行なっている。国の動向をみて財源確保の見通しが立てば同時に整備を進めていきたい。

### 村長

村としては、交

は、スポットクーラーの季節リースや軒先へのミストシャワー等の設置、職員室への冷房器具の設置など再度検討を進めてまいりたい。



暑くて間に合いません

### 子どもの医療費完全無料化は

**問** 償還払いから現物給付になり、1レセプト300円を支払えばよくなった。医療費の無料化はお金の心配をせずに受診できる。わずかと言われる一部負担金も負担になる家庭もあると聞く。

**答** 本来に必要な負担であると考えておられるか。

### 村長

県と市町村で共同設置した福祉医療あり方検討会での検討の結果、公平な制度を維持するため必要な制度だという論議の結果で適正と考えている。

東原 靖雄 議員

矢筈公園キャンプ場の見直しは

問 小川川の上流に矢筈ダムが出来、四十年が経過した。この公園は河川敷き内に、村営キャンプ場として整備され東屋、トイレ炊事場等が設置されている。多くの人が訪れ、にぎやかさがあり、地区活性化につながった。その後バブル経済が崩壊し、客は減少し、又洪水による堆砂が始まり湖面の広さも少なくなってきた。ところがここ数年前から五月連休を始め夏、秋にはテントを張りキャンプ、川遊びする若者が増え、夏本番には昔を思わせるにぎやかさが戻ってきた。そんな中で、来た利用者からトイレに虫がいる、汚い、又炊事場が道路側にならないかと、要望

が寄せられてきた。三遠南信自動車の開通を見据え、交通量の増加に伴い若者達が自然を楽しむ傾向は一層強くなってきている。矢筈公園キャンプ場を今一度見直し、トイレの水

生活環境課長 公園内の施設管理につき、トイレ内及び便槽につき、洗化、炊事場への道路整備、東屋周辺の樹木整理等おこない明るい公園を望みたい。

き、週一回の清掃と巡回、必要に応じ汲み取りを実施している。飲料水は年一回の水質検査を実施している。左岸の東屋、炊事場等は保安林内で改良は難しい。周辺の樹木は整理出来るので維持修繕を考えていきたい。右岸は河川敷き内で施設整備は出来ない状況でありトイレの新設は難しい。以前から要望があり、検討した経過がある。いま一度建設事務所と協議させていただきたい。



上：矢筈公園キャンプ場 下：炊事場

喬木村の地域防災力の強化は

問 総合防災訓練について、どのように検証しているか。

総務課長 先んじて行われた地区防災研修会では延べ五〇〇人を超える住民が参加した。地域防災力の強化のきっかけづくりにつながった。地震発生時には自助、共助の大切さを学んだ。これを踏まえて、今回の防災訓練は、従来に増して現実面に即した訓練が実施できたと認識している。

問 大きな災害の教訓から特に人口の少ない自治体は、大規模災害時にはより厳しい現実には直面するといわれるが村におけるBCP(業務継続計画)の策定状況は如何か。

総務課長 村は昨年度からBCPの策定に着手し、策定作業を進め

下平 貢 議員

置づけは。 村長 災害発生時に即時に対応することが出来る消防団は、地域防災を担う中核だと認識し組織強化を図ることが大切である。村でも消防団を支える取り組みを行うと共に、住民の皆様には、「自分たちの地域は自分たちで守る」といった意識の再確認と、各地域と消防団との連携や、男女を問わない団員確保の取組を含め、消防団活動への理解と協力を求めたい。

答 標準的な計画項目は六項目あり、計画の柱である「非常時優先業務は、各課より抽出作業がまとまってきている。この他「首長不在時の明確な代行順位と職員」の参集体制のあり方、「本庁舎が使用できなくなった場合の代替庁舎の特定」、「職員の水・食料の確保」、「災害時にもつながりやすい多様な通信手段の確保」、「重要な行政データのバックアップ」については、地域防災計画等で規定されている事項を基に、出来るだけ早い時期に策定を行っていきたい。

問 次世代に向けた消防団の在り方や、位



防災訓練

## 後藤 章人 議員

### 危険ブロック塀等撤去、補強・改修に対する補助金の交付は

**問** 本村では危険ブロック塀等撤去、補強改修のための費用を補助する要綱を作った。要綱によると「申請に基づき」とあるが所有者のいない物件、所有者がはつきりしない物件についての取扱いは。

**総務課長** 規則にもある通りで、申請者のいない物への交付は困難になる。申請は所有者が原則になるが、今回は申請できる方の範囲を広げ、所有者から撤去に関する権利を付与されている方からの申請も可能としている。所有者不明の物件につ



基礎から浮いたブロック壁

いても地区の皆さんと検討していきたい。

**問** この制度がしっかりと生かされるよう手を尽くして頂きたいが。

**総務課長** この補助金については、大阪府

### 学校のエアコン管理は

**問** 安全のための管理は。

**教育委員会事務局長** 温度管理や使用時間の管理は、子供達の体調管理、ランニングコストの面で重要と考えている。村としても教育委員会と学校とで協議して使用方法等決定していきたい。

**問** 来年以降も厳しい暑さが予想される中、避難所となるような施設、消防の詰め所等

北部地震の事故を受けて、早急な対応が必要と考えた。平成33年3月までを補助の対象期間とした。制度の創設、趣旨については情報誌、イチゴチャンネルなど様々な方法により周知を図る。通学路のブロック塀については、把握でき次第文書にてお知らせしていく。

にエアコン設置の補助を願いたい。

**村長** 避難所等にエアコンも必要な設備であると感じている。通常のエアコンの設置のみでは、解決できない場合もあり、電気料金の負担増が各自自治会の重荷になるのではと危惧される。施設への設置については、既存の補助金交付規則の中で、使用可能か検討していく。

## 中森 高茂 議員

### リニア開通に向け関連事業への取り組みは

**問** リニア対策関連事業への村の取り組みと事業予算は。

**村長** ガイドウェイヤード周辺道路の整備工事は交差点協議が整い次第着手する。伊久間工業団地は用地取得・敷地造成・周辺道路への改良工事を予定している。リニア移転者の住宅団地整備は必要と判断すれば整備費用を想定する。これらの実施計上費用合計は13億円を見込んでいる。また、8年後ガイドウェイ用地取得費用5億円が見込まれる。三遠南信自動車道では、開通に合わせたアクセス道路整備費用も数億円見込まれる。平成27年より、リニア・三遠南信自動車道整備活性化基金を新設し積み立て

を行っている。29年度末の残高は約10億5千万となっている。11億円の資金不足が見込まれるが、実際ガイドウェイヤード造成工事は、JRからの委託金で賄っていく。伊久間工業団地・北住宅団地造成工事は売却による収入が見込まれる。一方で、ガイドウェイヤード跡地の用地取得後の土地利用計画は定まっていない。例えば民間による開発であれば、土地売却による収入が見込めるが、小さな拠点の機能を持った施設や公共施設等想定した



ガイドウェイヤード予定地

場合村での整備が必要となり、少なくとも10億円以上の資金が必要となる。さらに今後リニア関連事業以外にも、保育園の建て替えや中学校の大規模改修が喫緊の課題であり、それぞれに10億円単位の費用が見込まれる。大規模投資が必要な中で村の歳入の40%を占める地方交付税も減額が予想される。既存の補助事業も適正か見極めながら備えていく。

# 議会モニターより

## 要望、意見

・一般質問通告がHPにアップされ、傍聴者にとつては事前に知る事ができ、いいと思いましたが。本番では議員の質問が原稿を読み上げるだけでは、知っている内容だけに退屈かもしれません。質問の仕方も工夫が必要ではないでしょうか。

・医療費削減施策については現状評価、課題について踏み込んだ議論が欲しかった。

・夜間・休日の開催については、傍聴する機会が増えてよいと思います。

・終わりの時間が定まっているようで、良い事だと思います。

・夜間・休日議会の傍聴者を増やし、まずは

ました。また、一般質問においては、質問内容が前もって文書化しており、理事者職員の答弁もひじょうに分かりやすく、会議の時間短縮につながっていると思えました。

・一般質問の前置きが長すぎ、内容がぼけてしまった。なにが言いたいのか、分かりずらくなってしまう。

・モニターとしては、まずは議会がどんなものか一年間かけて、すこしでも分かればと思います。

議会のこと、議員の答弁等に関心を持つべきでは。

・大変良いと思います。

## 夜間・休日議会について

# 「一般質問」

下平 裕

6月定例会から、何回か傍聴させていただきました。

今回の一般質問に8名の議員から質問があり、それに対して村長他各担当者が答弁されました。

自分が感じた事

①昨年からの開催された夜間休日議会も回を重ねるごとに傍聴する人が少なくなった気がします。

②議員も大変だと思えますが、勉強また努力してください。

③議会事務局の方の資料作りには頭が下がりました。モニターとしてわかりやすかったです。

最後に各モニターの方もできるだけ傍聴できたらと思います。

1つのイベントで終わってほしくないです。

# 「予算・決算委員会」

木下 耕 貴

(談)

最後の討論まで聞けなかつたことは残念でした。

前回感想を書いたのでお断りしましたが、「予算決算委員会」の傍聴者は私一人だったので、感想を述べさせてもらいます。

「事業評価シート」など、分かりやすい資料に基づいて、一生懸命討論していただいていると感じました。

討論内容まで、批判するのには、もう少し

勉強する必要があるかと思えますが、「事業評価シート」に基づいた議論は、聞いていてわかりやすく、今後も継続



予算決算常任委員会

# 議会傍聴者より

## 意見、感想

・初めて傍聴しました。

今回は常任委員会の傍聴でしたが、一般質問(本会議)も傍聴したくなりました。今まで議会(委員会)が遠く感じていましたが、今回は少し近くに感じる事ができました。

・議案に対する事前質問と回答は、傍聴の際に議員の考えが分かり参考になりました。

・毎回、議長から注意される議員がいる。個人とはいえ、議会全体の資質と受け取られかねない。議員必携の勉強等しっかりとおこなうべきでは。



# シリーズ 一般質問 その後どうなったか

Q・役場駐車場入り口トイレ付近に設置されている、  
村をアピールする看板の内容と移設は

(平成29年7月)

A・指摘の看板について、第五次喬木村総合計画で策定した村の将来像について村民全体で共有することが重要と思っている。今後デザインの検討、予算の確保をおこない、更新をしていきたい。移設については考えていない。

(企画財政課)

■平成30年6月 看板が第五次総合計画に合わせた内容にリニューアルされた。

(福澤眞理子)



## 全員協議会報告

### 危険ブロック塀等 撤去に補助金

喬木村では、道路沿いなどの危険ブロック塀の撤去費用を補助する要綱を作った。これは、6月の大阪府北部地震でブロック塀が倒壊し、女児が死亡した事故を受けたものであり、今定例会で、災害対策経費危険ブロック塀撤去等補助金として300万円の補正が認められた。

要綱によると、この制度は倒壊または倒壊する恐れのある危険ブロック塀の撤去の費用について補助するものである。補助対象者として、危険ブロック塀の所有者もしくは所有者から撤去に関する権利を付与されている者、公共施設であって維持管理権を有する区また

事業区分	補助金額
危険ブロック塀等撤去	事業費の50%以内で、かつ、1敷地につき10万円を限度とする。ただし、区又は自治会が申請する公共施設にあっては20万円を限度とする。
危険ブロック塀等補強	事業費の50%以内で、かつ、1敷地につき20万円を限度とする。
危険ブロック塀等改修	事業費の50%以内で、かつ、1敷地につき30万円を限度とする。

は自治会と、対象者の範囲が広がっている。補助金額は表の通りである。

なお、公共施設については、改善のための補強工事、撤去後新たに安全な工作物等に改修する工事も対象となっている。

この制度を大いに活用し、安心安全な環境の整備が進むことを願いたい。

### リンゴ黒星病対策

#### リンゴ黒星病に適用される補助金交付規則

黒星病 DMI 耐性菌 特別防除緊急支援	りんご場 10a あたり 1,000 円以内	・特別防除薬剤は、平成30年8月1日から平成30年10月31日までに購入し、千円未満は切り捨てる。
----------------------	------------------------	---

リンゴに発生する病気「リンゴ黒星病」に対する緊急対策補助金として今定例会において30万円の補正が認められた。

今回確認されたリンゴ黒星病は、従来の農薬が効かない「薬剤耐性菌」であった。飯下の自治体が一体となつてこの伝染病の封じ込めを徹底する必要がある、管内統一した。助成措置の要請に基づき、緊急措置として行われるものである。長野県リンゴのブランドを守るためにも急がねばならない判断であった。

# こんにちは 工人船工房です

桃添 下澤 海

村内で竹細工を製作しています。名前は海の好きな両親が名付けてくれました。喬木生れ、喬木育ちの喬木っ子です。



工房にて

九州の大分県別府で竹細工を学んだ父に師事し、現代の日常に合っ

た、丈夫で使いやすい籠を作っています。

竹は十一月下旬に素性のいい真竹の竹林から、竹を一本ずつ切り出し、それを釜で煮た後、一か月ほど天日で乾燥させたものを加工します。そこから、編む為の「竹ひご」にする作業の「荒はぎ」や専用の道具を使って竹ひご毎の幅や厚みを揃える「幅取り」や「銚取り」等の加工で均一な竹ひごを作ります。

竹籠を制作していきま

す。時間と手間のかかる地道な仕事ですが、使つて下さる方のことを考え、頑張っています。今回ご紹介できたのはごく一部ですが、竹細工のことや「うちの村にもこんな人がいるんだな」と知ってもらえる切欠になれば嬉しいです。

この村で  
**がんばって  
ます!!**

他にも竹ひごを編み上げる作業や、固定するための縁作りなど、三十以上の工程を経て



製作された竹籠

## 議会日誌

- 7月 5日 全員協議会
- 8月 20日 長野県町村議会研修会
- 3日 村への提言書提出
- 10日 北部ブロック議員研修会
- 9月 9日～21日 第3回村議会定例会
- 27日 女性団体連絡協議会との懇談
- 今後の予定
- 10月 2日(火) 全員協議会・区長会との懇談
- 5日～30日 各地区議会報告会
- 19日(金) 北部ブロック議員研修会
- 30日(火) 飯伊市町村議会研修会
- 11月 5日(月) 全員協議会
- 23日(金) 関東地区ふるさと会
- 12月 4日(火) 第4回定例会(開会) 9時(案)
- 8日(土) 定例会(一般質問) 9時(案)
- 11日(火) 予算決算常任委員会19時(案)
- 12日(水) 総務建設産業常任委員会19時(案)
- 13日(木) 社会文教常任委員会19時(案)
- 18日(火) 12月定例会(閉会) 9時(案)
- 平成31年1月 7日(月) 全員協議会
- 25日(金) 飯伊市町村議員研修会

### 表紙写真の説明

雨の中体育館での運動会でした。色あざやかな手作りの法被で踊る園児。

## あとがき

日本列島は本当に自然災害の多い国である。西日本での豪雨災害、9月はじめの台風。当村でも土砂崩れ、建物被害、農業被害等多くの被害に見舞われた。続いて北海道では大きな地震があった。そして多くの方が、避難生活を余儀なくされている。被害にあわれた皆様には、心からお見舞い申し上げます。議会改革の一環としてスタートした、夜間・休日議会も4回の定例会を終え、約一年が経過した。しっかりと反省、総括をし、皆さんの声をお聞きした上で、次回に向かいたい。

(小池)

### 編集委員会

- 委員長 小池 豊
- 副委員長 後藤 章人
- 委員 櫻井 登
- 委員 福澤眞理子
- 委員 後藤 澄壽